

党市議会議員 中村あさと



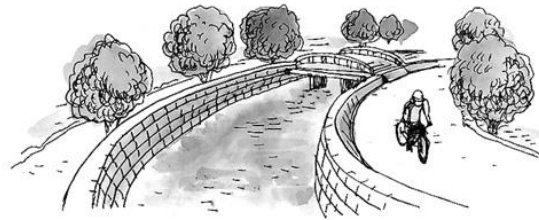
地域の防災訓練に参加をしました。今年は、北海道の地震や西日本豪雨災害など大変な被害があり、和歌山市でも台風21号により住宅をはじめ多くの建築物が被害を受けました。また、停電が長期にわたった事も特徴的でした。そうした中、地域の方々の防災意識は高く、非常に多くの方が訓練に参加していました。

先日は、和歌山市議会で作る紀の川大堰に関する和歌山市議会議員連盟の皆さんと一緒に国交省や財務省を

行政は当然ですが地域の防災力の向上も重要

訪ね紀の川の治水対策を要望して参りました。

防災対策が急がれる中で、行政の取り組みは当然ですが、地域の防災力の向上も重要です。今回の防災訓練では、初めに砂山小学校の屋上に上がりました。途中、高齢の方にお会いしましたが、最後の階段に手すりがついておらず、大変苦勞をされていらっしゃる様子で改善が必要だと感じました。今回のように地域の防災活動での経験をしっかりと行政の防災対策に生かしていきたいと思えます。



リレートーク Relay talk

県会議員 奥村のり子の 読者ニュース



2018年12月2日 第337号

——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp

知事選の「支援に感謝します 来年の地方選、参院選頑張ります」

知事選挙では畑中さんへのご支援ありがとうございました。カジノを含む統合型リゾート（IR）の誘致を争点にし戦った畑中さんは61,064票を得ることができました。前回より得票数を伸ばしました。奮闘に心から敬意を表したいと思えます。選挙中は候補者カーに乗せていただき沿道から今までにない多くの人から手を振っての声援がありました。最終日は演説中も何度もお礼を言う場面があり、話とぎれることもありました。

このみなさんの思いを今度は来年の統一地方選・参

議院選挙の勝利につなげていかなければと気を引き締めています。この間地域を訪問しカジノ反対のリアルな声を何人もの方からお聞きしました。しかし、来年の選挙についてはまだまだ知られていないことを実感しました。

今回の知事選挙は初めての18歳から投票できる機会でしたが投票率38.3%という低い結果でした。もっと関心を持っていただけるようにしなければなりません。そのための工夫などみなさんの知恵やご意見などぜひお寄せ下さい。

（奥村のり子）



世界の海で大問題のプラスチック 日本は腰の引けた対策で失望が

11月27日の日刊「赤旗」の主張欄は地球上の人類に身近に存在する「プラスチック」です。ネットで検索すると「クジラの体内から重さ6キロのプラスチックごみ」（インドネシア）「胃の中はプラスチックごみが満杯」（ドイツ）などとたくさんあります。記事です。主張は「世界全体では年間800万トンを超えるプラスチックごみが陸上から海へ流出していると推計され、このままでは50年までに世界の海の魚の総重量を上回るプラスチックごみが出されると警告されています」と。海に流出し5ミリ以下になったマイクロプラスチックを魚や鳥、動物がのみ込み人体への影響も危惧されるそうだ。世界でさまざまに取組みがされているが日本の対策は立ち遅れて廃棄プラスチックの回収、再利用がいき詰まっています。政府は「有効利用率」は高いと言いますが、少なくとも量を中国や東南アジア各国に輸出し処理をゆだねてきました。ところが各国とも廃プラスチックを厳しくし輸入禁止に踏み出し国内に滞留しています。

世界では60カ国でレジ袋や発泡スチロール製食器は生産禁止する規制を導入。ところが日本はプラスチック業界の自主努力任せです。6月のG7サミットでは規制強化をする憲章に米国とともに署名しなかったため失望の声が広まっています。

年限を区切った数値目標をいやがる産業界に気を配る腰の引けた対応しかできないアベ政権です。この政権には未来の地球を守る気はないのです。（編集室）

- ### のり子の週刊日誌(主なもの)
- 11月30日 市駅前・宇治交差点宣伝、未来社会論を学ぶ会、和教組懇談、庁内訪問
 - 12月1日 地域訪問、あざみの会懇親会
 - 2日 公務、南畑生活相談所まつり
 - 3日 定例会開会、河西無料生活相談
 - 4日 議案調査
 - 5日 議案調査、環境を考える会
 - 6日 議案調査、社保部会、市駅前事務所無料生活相談

リレートーク